

一般会計予算
44億1,385万円
(1億2,385万円増額補正)

コロナ対策支援として 全村民に一人1万円を支給

令和4年度
補正予算
全会一致で可決

補正の主なもの

◎歳入

新型コロナ対策地方創生臨時交付金 …… 6,684万円
財産収入 …… 1,475万円
村債 …… 1,430万円

◎歳出

子育て世帯特別給付金 …… 620万円
非課税世帯特別給付金 …… 1,050万円
生活安定給付金 …… 5,750万円
役場庁舎修繕工事 …… 910万円

◎各種会計補正額

会計別	補正額	予算額	
一般会計	1億2,385万円	44億1,385万円	
特別会計	介護保険	183万円	6億4,563万円
	後期高齢	△53万円	5,777万円
水道事業	資本的支出	700万円	3億6,522万円

令和4年第2回定例会は、6月1日から3日までの3日間にわたり開かれた。村長提出案件は、同意3件、専決処分承認7件、条例一部改正2件、令和4年度補正予算4件、報告1件、

全17議案が提出され、全て原案どおり可決された。一般質問は7名の議員が質問し、7Pから14Pに掲載しております。

主な質疑

コロナ対策給付金

問 コロナ対策の生活安定給付金の内容と基準日は。

答 原油高・物価高騰に伴う経済的負担の緩和として、村民1人あたり1万円の給付である。基準日は令和4年6月1日現在となる。

問 支給の方法は。また、村としての住民への周知は。

答 申請不要で世帯主の口座に家族全員分が振り込まれる。村広報紙で詳細をお知らせする。

農地維持保全会補助金

問 新たに保全会を設立した地区はどこか。

答 衡中地区である。これら村内では12地区に保全会が設置され、未設置は駒場地区だけである。

問 地区により保全会活動の取り組み状況に差があり、補助金を返還している地区もある。村として地区の活動に対する指導すべきではないか。

答 活動内容や補助金の使途について説明をしていきたい。

防火水槽設置

問 海老沢地区の防火水槽設置は、消火栓で対応できないか。

答 海老沢開発に伴う防火水槽設置は、消防本部からの指導である。

問 水源はどこから持ってくるのか。

答 衡下セーフテーターからの予定であるが、経費がかからないように検討する。

保健活動推進委員

問 推進委員が1名増えた理由は。

答 ときわ台南の人口増により、増員となった。

空気清浄機購入

問 設置場所と台数、性能はどのようなものか。また、財源は。

答 庁舎・公共施設合わせて17台と福祉センター7台であり、医療機関等で設置している、ウイルス等を99・9%除去するものを考えている。財源は、共に地方創生臨時交付金である。

消防団活動服更新

問 現在の活動服でも十分に機能を発揮している。更新する必要があるのか。

答 8年が経ち、デザインも変わってきている。消防費補助金が充当できるため更新を考えている。

問 消防団には雨カッパがない。水害等に備え、雨カッパを購入するべきでは。

答 来年以降に検討したい。

ウェブ会議用ノートパソコン購入

問 購入の理由は。

答 コロナ禍により対面での会議ができなく、ウェブ会議が増えた。そのため、必要なパソコンを3台購入する。

庁舎・平林会館復旧工事

問 財産管理費の工事請負費の内容は。

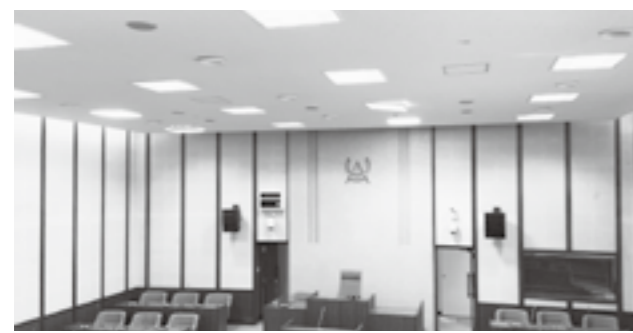
答 3月の地震で被害があった議場と平林会館3階の天井及び役場庁舎と平林会館の接合部の補修工事である。

問 この予算額で改修できるものか。

答 概算見積であり、工事途中での状況で判断し対応する。



保全会による共同作業



補修が必要な議場の天井

条例改正

議会議員及び村長選挙運動費用の公費負担条例

◎改正の概要

対 象		現 行	改 正
公費負担	選挙運動用自動車の使用料	1日1台 15,800円	1日1台 16,100円
	選挙運動用ビラの作成	単価7円51銭	7円73銭
	選挙運動用ポスターの作成	1枚当り525円6銭 掲示場数加算 155,250円	541円31銭 158,125円

固定資産評価審査委員会条例

地方税関係書類における押印義務等の見直しに伴い、委員会条例の審査手続きにおける押印を廃止する。

選任同意

固定資産評価審査委員の選任



岡本 勝成氏



佐々木 修氏



松木 浩一氏

大衡村固定資産評価審査委員会委員の選任について、議会の同意を求められ、全会一致で同意しました。

任期 3年 (R4.7.1~R7.6.30)

専決処分

令和3年度各種会計補正予算

会計別	補正前	補正額	補正後	
一般会計	57億2,070万円	△1億4,828万円	55億7,242万円	
特別会計	国民健康保険事業	5億745万円	△2,362万円	4億8,383万円
	下水道事業	2億3,082万円	△119万円	2億2,963万円
	戸別合併処理浄化槽	4,682万円	△128万円	4,554万円
	後期高齢者医療	5,790万円	16万円	5,806万円

一般会計補正予算の主なもの

◎歳入

村税 …………… 555万円
 地方交付税 …………… 1億6,382万円
 各種交付金 …………… 4,608万円
 財産収入 …………… △2,186万円
 基金繰入金 …………… △3億4,336万円

◎歳出

財政調整基金積立 …………… △9,967万円
 子育て世帯特別給付金 …………… △640万円
 非課税世帯特別給付金 …………… △590万円

主な質疑

問 3月定例会における補正後に、多額の予算が専決処分となった理由は、

答 コロナ対策関係の国庫交付金や地方交付税が、3月年度末に確定したことにより再度補正予算としたため。

問 同時に発行された5月号村広報紙に掲載された予算額と、議会だよりの予算額に差異が生じた。

答 予算を専決補正した経緯を村広報紙に掲載すべきではなかったか。

問 課税限度額引き上げの対象は何世帯か。

答 課税限度額引き上げの対象は2世帯であり、税額は、25万円増となる。

条例改正

- 大衡村税条例
- 大衡村国民健康保険税条例

国民健康保険税条例改正質疑

問 課税限度額引き上げの対象は何世帯か。

答 課税限度額引き上げの対象は2世帯であり、税額は、25万円増となる。



一般質問

7名の議員が登壇

質問者一覧表

- 石川 敏**
・企業立地促進施策の成果を問う
- 小川 克也**
・次期村長選挙について問う
- 小川 ひろみ**
・県道大衡仙台線周辺の都市計画は
・奨学金給付制度を
・带状疱疹予防接種費用の助成を
- 赤間 しづ江**
・女性にやさしい支援策の取組みを
- 高橋 浩之**
・大衡村ホームページについて
- 佐藤 貢**
・村内の生活道路の整備を
・地域おこし協力隊の導入を
- 佐野 英俊**
・善川遊水地排水路の安全対策は
・交通量増加の奥田地区へ横断歩道の設置要望を

一般質問とは

定例会ごとに、村長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

次の定例会は
9月6日(火)
からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局
☎345-6030
✉gikai@village.ohira.miyagi.jp

※会議録は大衡村議会ホームページで閲覧できます。

令和4年6月定例会提出議案 17件

- 同意第 2号 大衡村固定資産評価審査委員会委員の選任
- 同意第 3号 大衡村固定資産評価審査委員会委員の選任
- 同意第 4号 大衡村固定資産評価審査委員会委員の選任
- 承認第 3号 専決処分の承認〔大衡村税条例等の一部改正〕
- 承認第 4号 専決処分の承認〔大衡村国民健康保険税条例の一部改正〕
- 承認第 5号 専決処分の承認〔令和3年度大衡村一般会計予算の補正〕
- 承認第 6号 専決処分の承認〔令和3年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正〕
- 承認第 7号 専決処分の承認〔令和3年度大衡村下水道事業特別会計予算の補正〕
- 承認第 8号 専決処分の承認〔令和3年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算の補正〕
- 承認第 9号 専決処分の承認〔令和3年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正〕
- 議案第31号 大衡村議会議員及び大衡村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
- 議案第32号 大衡村固定資産評価審査委員会条例の一部改正
- 議案第33号 令和4年度大衡村一般会計予算の補正
- 議案第34号 令和4年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正
- 議案第35号 令和4年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正
- 議案第36号 令和4年度大衡村水道事業会計予算の補正
- 報告第 1号 令和3年度大衡村一般会計繰越明許費繰越計算書

採決状況

○賛成 ×反対 議長(細川運一)は採決に加わらない。

議案	小川 克也	佐野 英俊	石川 敏	小川 ひろみ	赤間 しづ江	佐々木 春樹	文屋 裕男	高橋 浩之	遠藤 昌一	佐々木 金彌	佐藤 貢	細川 運一	議決結果 (賛成:反対)
同意第2号～第4号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	同意 (9:0)
承認第3号～第9号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	承認 (9:0)
議案第31号～第32号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決 (9:0)
議案第33号～第36号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決 (9:0)
報告第1号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告は採決しない



小川 克也 議員

次期村長選挙に向けて 明言は差し控えたい

村長 住民のニーズも考え、アンケート調査等検討していく。

問 村民テニスコート移転新設について、アンケート調査をするべきでは。

村長 現在進行中の事業を含め、大部分は着手済みである。しかし、村民テニスコート移転新設だけは、利用者の意見が集約されていないことや、移転先の用地が決定していないため着手まで至っていない。

公約
問 2019年村長選挙に再選を果たした際に公約を挙げている。公約どおりに行っているのか。

問 万葉クリエートパークキャンプ場が整備される。スポーツも楽しめる公園として、万葉クリエートパーク付近に村民テニスコートを移転新設してはどうか。

投票率アップ
問 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられている。投票率を上げる取り組みが必要では。

問 投票率を上げるために、投票済証明書や投票した写真を加盟店に提示して、割引サービスを受けられる仕組みの「選挙割」を活用してはどうか。

村長 割引サービスとなる店舗が限定される。導入にあたっては慎重に検討していく。

問 村民からの声で、村長は相談しやすく親近感がある。また、課内で様々な事業を提案する環境があり、役場の風通しが良くなったと聞いている。それでも出馬について変わりはないか。

村長 元氣の出る評価だ。明言するのは差し控えたい。

村長 行政課題が山積している。目の前の課題に集中することが責務だ。出馬については考える暇がない。

出馬意向
問 来年4月に村長選挙が実施される。次期村長選挙に出馬する意向は。

公約
萩原たつお これから

- 小中学校給食完全無料化
- 大郵便局(仮称)の誘致
- 給食センターの建て替え(ウエット式→ドライ式)
- 小学校プールの建て替え
- 村民テニスコートの移転新設
- 旧幼稚園舎の有効再利用
- 海老沢地区市街化の実現
- 五反田、亀岡地区計画による市街地の形成
- 村道尾西2号線改良舗装事業(31年度)

- 国・県に対し
- 国道4号4車線化の早期完成(現在用地交渉中)
 - 水害から守る遊水地築堤(御下地区)
 - 県道大野仙台線の早期着工
 - 防衛省関連の交付金、補助金の堅持(王城寺原関連の民生安定、障害防止に係る)



石井国土交通大臣に国道4号線の供託を説明

再選を果たした際のリーフレット(9項目の公約)



石川 敏 議員

企業誘致の取り組みは 自らトップセールスで

企業立地奨励金
問 平成13年に条例を制定してから、奨励金を交付した企業数や交付額の詳細は。

村長 令和3年度末で17社に対し総額12億6千万円、雇用奨励金は2社に32万円を交付している。

村財政への効果
問 奨励金を交付した企業からの税収や雇用の拡大、転入者の増加等村への経済効果は。

村長 平成13年度と比較し、令和2年度では固定資産税や村民税等で3億円の増収となっている。事業所の製造品出荷額も5倍以上増加し、県内第14位から第4位に上昇している。

奨励金条例
問 2億円を超える奨励金を交付した企業の中には、操業開始後間もなく工場を廃止した企業もある。交付した奨励金の返還を求められるように条例の見直しが必要ではないか。

村長 当該企業は工場廃止時期が操業開始から5年以上経過しており、条例の規定では返還請求できない。企業誘致活動は自治体間の競争でもあり、奨励金制度は継続していきたい。

奨励金基金
問 奨励金の財源である企業立地促進基金の残高が3900万円しかない。企業からの税収の一部を基金に積み立て、財源の確保を図るべきではないか。

村長 奨励金は例年一般財源で対応している。不足する場合は、基金から取り崩すことになるので、財源不足にならないよう留意していきたい。

企業誘致対策
問 第二仙台北部工業団地の今後の分譲見込みや、企業誘致施策の方針は。

村長 新たに松の平3丁目の工業団地の造成も県から発表されている。私自らトップセールスで、企業訪問やセミナー等の誘致活動に積極的に取り組んでいく。



多くの企業が進出している第二仙台北部工業団地



赤間しづ江 議員

女性にやさしい支援策を できることから取り組む

問 生理用品の現場での対応
「コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」問題、特に思春期の児童生徒の身体、心理的ストレスを考えた生理用品の教育現場での対応はどのようになっているか。

村長 県との共催事業で、女性の視点を生かした防災講座、パネルキャラバンを計画している。
さまざまな資料を活用し、多様性を認め合う社会づくりの啓発にも努める。

問 男女共同参画の事業
大衡村男女共同参画プランが策定され、今後5年間の取り組みが始まる。令和4年度の実施事業の内容は。

教育長 学校生活のさまざまな場面において、性に対する正しい知識を身に付け、自尊心を高め、他人を尊重する大切さを学ぶ場を設定している。
養護教諭を中心に女性教職員が心理的負担にならないよう十分配慮している。

問 プライバシーへの配慮
女子児童生徒の心理的な負担にどう対処しているか。

教育長 小中学校は、養護教諭を中心に女性教職員が対応している。児童館多目的図書室では、職員が対応し、トイレには置いていない。
実態の把握が難しいので、要望をふまえて提供方法を工夫していく。



県民の森中央記念館内の簡易型授乳室

問 支援の強化
安心して学校生活が送れるよう、状況を調査し支援を強化する考えは。

村長 国も、女性の心身の健康等に及ぼす影響を調査し公表している。今年度は実態調査が行われ村も関係するので検討していく。
昨年度から、福祉センターのトイレに生理用品を備えており、できることから始めている。

問 授乳室等の設置
子育てしやすい環境づくりのため、公共の場に授乳、着替え、一息つけるフリースペースを設けては。

村長 昨年、県が実施した「授乳室等に関するアンケート」では、保護者の7割が外出先で困ったと回答している。
場所の確保が課題となっているが、安心して出かけられるように簡易型授乳室の活用等、小スペースでも設置できる工夫をし整備に努めたい。



小川ひろみ 議員

県道大衡仙台線周辺の都市計画は より良い計画としていく



期待される大衡仙台線（地質調査）

問 県道大衡仙台線事業の概要は。
村長 計画区間は和和町吉岡西部地区から、大衡村八幡前国道4号交差点までの延長約3.4kmで、このうち大衡村が約1.6kmの延長、計画幅員は27mである。

問 地質調査が行われている県道北四番丁大衡街路事業の進捗状況に合わせ、若者が住み続けたいくなるような持続可能なまちづくりを目指し、沿線周辺の都市計画を進めるべきでは。
村長 予定地域は農振農用地域であり、計画が40haと大規模である。
人口減少社会でもあり、先に五反田・亀岡地区の開発を進め、県道沿線の市街化編入等の都市計画を見直し、より良い都市計画となるよう検討する。

問 本年度から、中学生を対象に、村内複数の企業職場体験をする予定である。
児童生徒の将来的な選択肢となると考えており、継続的に村内企業と連携を図っていく。

問 本村独自の制度は必要か。
村内企業を知る機会や地元に戻るきっかけづくりとして職場体験等の考えは。
教育長 奨学金給付制度は、将来村内企業に就職すること、若者のUターン、定住促進に繋がると考える。
村内企業に就職した者へ、一部減免や返済不要の給付奨学金等、本村独自の奨学金支援制度は必要と考える。

帯状疱疹予防接種費用の助成を 国の動向を注視して考える

問 日本人の3人に1人が帯状疱疹になると言われており、現在推奨されているシングリックスワクチン接種は、1回2万円くらいで、2回の接種が必要で、予防効果は90%以上と高く、効果の持続も10年と言われている。
任意接種であり、高額で

問 ある接種費用の免除や2分の1を助成しては。
村長 ワクチン接種は高額であり、受ける方が少ないのが現状である。
国において、定期接種の検討もあることから動向を注視して考えていく。



佐藤 貢 議員

村内の生活道路の整備を 村での管理は難しい

村長 高齢世帯の増加に伴う行政課題の一つであると認識している。ただ路線も多く村の管理は難しい。

問 利用している住民の方は、高齢世帯も多い。福祉政策の観点からも対策が必要ではないか。

村長 財産管理は村で行っているが、維持管理については地域の利用者の方々にお願している。

問 道路以外の道路を生活道路として、地域住民が日常生活に利用されている。道路法の適用がない公道は維持管理の対象にはならないのか。



整備が求められる生活道路

村長 災害防止策からも道路を整備することは難しい状況である。地域の消防団を始め、地域住民の自助・共助・公助に期待したい。

問 高齢化に伴い、災害被害や緊急事態が想定される。緊急車両に支障のある道路は速やかに修繕すべきと思うが防災対策としての取り組みの考えは。

村長 災害防止策からも道路を整備することは難しい状況である。

村長 行政とは違う柔軟な地域おこし策、地域の活性化や移住・定住にもつながる取り組みの一つと考えており、引き続き検討していく。

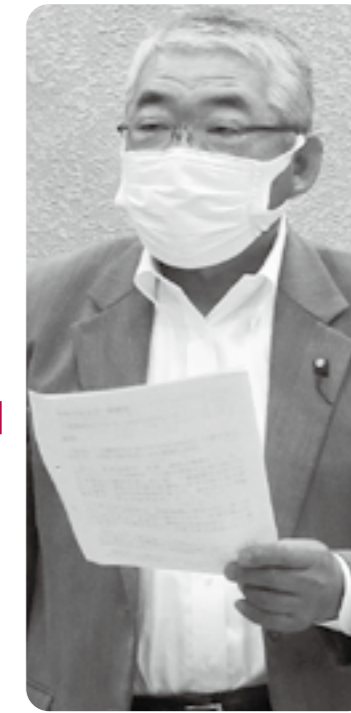
問 農業支援や地域住民への支援、地場産品の開発など本村の特色を生かした分野で活躍する支援協力隊を募集する考えはないか。

問 地域おこし協力隊に要する経費の財政措置について、具体的にどのような経費が対象となるのか。

村長 協力隊員の報償費や活動に要する経費として、隊員1人あたり上限480万円が特別交付税で措置される。

問 大衡村地方創生総合戦略の中で、「都市圏からの移住・定住を促進するため地域おこし協力隊の受け入れを検討する。」と明記されているが、状況はどうか。

企画財政課長 地域おこし協力隊の募集にあたり、どういった分野で活用できるのか検討してきたが、現時点においては実施まで至っていない。



高橋 浩之 議員

大衡村ホームページの改善を よりよい内容を目指す

問 H Pの役割は、「必要な情報を必要な時に分かりやすく提供すること」が一番重要である。村H Pはその機能を果たしていないのでは。

村長 令和2年度に、980万円を掛けて全面リニューアルしたが、その後改善点等の意見が寄せられ、その都度修正改善をしている。

問 以前より何度も、問題点改善点を提言しているが、未だに村のH Pは修正されていない。職務怠慢ではないのか。

村長 本村の職員は非常に真面目で頑張っているが、融通性に欠ける点もあり、H Pの運用に不慣れな所があると思われる。

問 職員がH Pの運用に不慣れであるならば、年間198万円を抛出し、web保守を委託しているの、委託業者に対して、もっと意見や要望を伝え、改善すべきではないか。

村長 現在、不具合や修正点を精査して、委託業者と調整している。

問 村H Pは、大衡村の顔であり入口である。

作成業者まかせて他所と全く同じであり、大衡村の個性が出されていない。せめてそこから改善して分かりやすく、楽しんで頂く努力をすべきではないか。

村長 議員の発言の通りである。今回の意見も取り入れながら、より良いH Pの構築を目指していく。



ここから
村ホームページに
アクセスできます。



村ホームページのトップ画面

広報広聴
常任委員会

行政区長会と
議会の懇談会

開催年月日：令和4年6月16日

議会の広聴活動の一環として、村の現状と地域の課題について、住民の代表である各地区の行政区長と議員の懇談会を開催し、今後の村づくりにいかしていく。



懇談会での意見

- ◆住宅地開発
 - ・村の人口は減少傾向が続いているが原因は。
 - ・高齢者世帯が多くなっている。新たな住宅地開発を進め、若者の転入者を増やすべき。
- ◆空き家対策
 - ・最近空き家が増えているが、対策はあるのか。
 - ・国道4号拡幅のため転出した世帯があるが、空き家の斡旋は出来なかったのか。
- ◆イノシシ対策
 - ・イノシシ防止柵の設置作業は、地区経費からも支出しているので村の助成額を増額できないか。
 - ・農地維持保全会の活動面からも重要である。
- ◆河川愛護作業
 - ・高齢化に伴い協力者も少なくなり作業が大変である。村で実施できないか。
 - ・道路愛護作業も同様である。
- ◆国道457号の現状
 - ・路面の痛みがひどく、補修や路肩の除草もされていない。
 - ・県に強く要望してほしい。
- ◆ゴミのポイ捨て
 - ・奥田地区工業団地内の県道沿いに、ゴミのポイ捨てが多い。
 - ・監視カメラを設置し、ゴミ捨て防止策を。
- ◆地区役員のなり手
 - ・若い世帯が多く役員のなり手がいない。地区のつながりに苦慮している。
 - ・民生委員の活動経費に村でも支援できないか。

意見を受けて

村に対する意見や要望については、執行部に対し報告するとともに、課題の解決に向けて議会としても取り組んでいく。

善川遊水地排水路の転落防止策は
国と引き続き協議する



佐野 英俊 議員

村道沿いの転落防止
問 村道沿いに設置の排水路の転落防止策は。
答 内水被害の軽減のため、村道竹ノ内蒜袋線沿線に、幅1.5m、深さ2.7m、深さ1.0m、1.5mのU字溝排水路が整備される。転落事故防止対策を要望しているが、水路設置完了後に現地確認し決定される。

遊水地内の転落防止
問 遊水地内の農道沿いに整備の幅2.9m、深さ1.5mの大型U字溝※地内排水路の転落防止策は。
答 遊水地は河川の洪水を溜め、排水時の障害となる柵などは設置されない。地外排水路と合わせ、国と引き続き協議していく。



どうなる転落防止！ 村道竹ノ内蒜袋線沿い

※地内排水路
 洪水時に遊水地に溜めた水を排水するため、遊水地の内側に整備される排水路。

完成後の管理責任
問 遊水地完成後の管理責任は。
答 遊水地は国の施設で、周囲の堤防や排水門などの主要施設は河川事務所が管理し、村は地外排水路や遊水地内の村道を管理する。

村は地元と河川事務所
問 村は地元と河川事務所の橋渡し役になるべきでは。
答 河川事務所と連携し対応していく。

奥田地区へ横断歩道の設置を
優先度が高いと認識し要望



県道を横断し万葉バスに乗車 奥田中沢バス停

横断歩道の必要性
問 奥田地区の通過車両は昼夜を問わず増加している。歩行者を守るため横断歩道の設置が急務では。
答 交通量が増え、万葉バスの通学利用も多く、横断歩道設置などバス利用者の安全対策については、優先度が高いと認識している。

万葉バス停への横断
問 バス停留所付近では通過車両の間の横断が現状で、安全確保が必要では。
答 学校、警察署などによる通学路安全推進会議でも状況を共有し、横断歩道設置を要望していく。

設置要望の理由
問 奥田地区西側の道路新設の遅れも、横断歩道設置要望の理由としては。
答 横断歩道の設置は、歩行者数や交通量と歩行者が安全に滞留できるスペースの確保など、現場条件も含めて、公安委員会が総合的に判断する。

調査年月日：令和4年5月10日

調査年月日：令和4年5月12日

イノシシ対策

◎年度別状況

	H29	H30	R1	R2	R3
イノシシ捕獲頭数	23	29	94	88	82
駆除実施隊員数	19	23	24	25	26
駆除活動経費(万円)	204	231	417	378	362
捕獲わな保有数	60	400	512	607	682
メッシュ柵設置(km)	7.3	13.4			18
電気柵補助(万円)	47	88	159	382	362
捕獲システム台数				60	72
被害面積(ha)	2.0	1.2	2.5	3.0	

◎調査結果意見

- ・イノシシによる農地への被害は村内全域に拡大している。
- ・イノシシ捕獲頭数は、令和元年度から横ばい状況。
- ・わな設置者によって捕獲頭数の個人差が見受けられる。わなの設置に関する研修を行い、技術の向上をはかることが必要である。

現地調査

- ①善川遊水地整備事業
村道竹ノ内蒜袋線交差点改良事業
- ②学校給食センター整備事業
- ③牛野ダム及びクリエートパーク
キャンプ場整備事業
- ④村道椋田戸口線改良舗装工事



村道椋田戸口線改良舗装工事調査

◎調査結果意見

- 各工事とも予定計画どおりに進捗されている。
- キャンプ場整備については、住民の意見や利用者のニーズに合った有料化整備計画をまとめられたい。



学校給食センター建設予定地(中学校敷地内)

社会福祉法人大衡村社会福祉協議会

◎重点事業

- ・地域福祉活動の推進
- ・ボランティアセンター事業の推進
- ・地域包括支援センターの運営(村から新規受託)
- ・地域活動支援センターの運営
- ・居宅介護支援事業の運営

◎事業運営

法人の事業は、会費(一般・賛助・特別)、県協・村からの補助金と事業受託金、各種事業収益、介護保険収入などにより運営されている。
令和4年度運営予算総額 92,525千円

◎調査結果意見

法人は、公益性の高い地域福祉を推進する中核的な団体として、地域の方々をはじめ、関係機関との協働により、地域づくりと地域生活課題の解決に取り組んでいる。
村民がいつまでも住み慣れた地域で、いきいきと暮らすことのできる地域共生社会の実現を目指し、事業運営を行っている。



大衡村社会福祉協議会の調査

空き家対策

【空き家の登録】 2件

登録所在地	登録年月
衡中	令和2年6月
衡下	令和3年2月

【相談件数】 14件

【交渉件数】 2件

【利用希望登録者】 4名

登録者住所	登録年月
仙台市泉区	令和2年2月
富谷市	令和2年3月
福井県小浜市	令和2年10月
大和町	令和3年8月

【空家等対策計画】 令和3年3月策定

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、村内の空家等に対する村としての基本姿勢を住民に示しつつ、空家等の活用方策についても併せて検討するための計画が策定された。

【協力事業者】 2社

登録事業者	登録年月
(株)SATO開発	令和2年4月
新みやぎ農業協同組合	令和2年6月

◎調査結果意見

利用登録が進まず、継続的な実態調査と「空家等対策計画」に基づく取り組みについて、担当課内での意見交換や「地域おこし協力隊等」の組織化が必要である。

新型コロナワクチン接種

◎小児接種予約状況(令和4年4月末現在)

対象年齢	対象人数	予約数(1回目)	予約率
5~11歳	461人	115人	24.9%

◎4回目接種 3回目接種から5ヶ月経過した下記の対象者

対象者	想定する対象人数	備考
60歳以上	2,100人	
基礎疾患を有する者	213人	国の想定基準(8.2%)
計	2,313人	

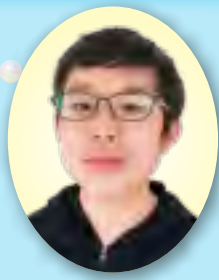


大衡中学校 2年
いしかわ ゆづき
石川 優月 さん

ウエディング プランナーになりたい

私の将来の夢は、ウエディングプランナーになることです。なりたいたと思ったのは、人の喜ぶ顔が見たいというこ

とと、人と話すことが好きだからです。人生のビッグイベントに関わる大きな責任もあると思います。それでも、人のために働いてみたい、この仕事がしたいと思いました。夢に向かって一歩でも前進できるように、学校でもたくさん学ぶ、自分自身を大きく成長させていきたいです。



大衡小学校 6年
いとう ななみ
伊藤 成海 さん

警察官になりたい

僕は、将来、警察官になりたいです。警察署で働いている父から、犯罪を取りしめ、困っている人を助ける仕事だと聞き、なりたいたと思ったか

らです。警察官になるには学校の勉強を一生けん命にすること、体をきたえて体力をつけることが必要だと父から教わりました。僕は勉強が好きなので、これからも勉強の予習をがんばります。でも、覚えることと持久力が心配なので、文字を書いて覚えるとともに、休みの日にランニングをして持久力をつけたいです。

将来の夢



いつまでも現役で！ シニアゴルフ会長 早坂 貞美さん

「大衡村シニアゴルフ会」は、25年前にゴルフ好きの先輩方が発足し、村内出身者を含む会員18名で活動しています。

会員の中でも80代の会員は、安定したプレーや体力・気力・マナー等会員皆の目標であり、学ばべきものがたくさんあります。

景色の良い緑いつぱいのフェアウェイのど真ん中に、200mを超えるナイスショットは、ゴルフの醍醐味であり、またゴルフ場に来たいという気持ちにさせます。

一方で30cmのパットを外したときは残念の極みですが、豪快さと繊細さが求められるのもゴルフの面白さかもしれません。

ゴルフは生涯スポーツとして老若男女問わず共にプレーが出来るのも魅力のひとつです。

健康で気兼ねなく仲間とプレー出来ることに感謝し、年4回のラウンドを楽しみに健康寿命の延命につながるよう心掛けています。

とびく輝



プレーできることに感謝

表紙写真



村民スポーツレクリエーション大会が3年ぶりに開催され、各行政区との交流を深め、楽しいひと時を過ごしました。

●あとながき●

コロナ禍、原油高、円安、さらにウクライナ戦争は、物価高を引き起こし私たちの生活にも影響を及ぼしています。

地方創生臨時交付金を活用した1人あたり1万円的生活安定給付金支給が、村民みなさんの生活安定の一助になることを願うものです。

編集 佐野 英俊
広報広聴常任委員会 議長 細川 運一

